





問題の階層

- 上位の問題
 - より一般的な問題
 - **より広範囲の問題 (問題の全体像)**
- 当初の問題
- 下位の問題
 - **特定の対象に焦点を当てる (問題の具体化)**
 - 一部の対象に焦点を当てる

2018/10/9 Toyohiko Hirota 8

問題階層のチェック

- 「上位の問題」は、「当初の問題」(部分)を含む「全体」である。
 - 「上位の問題」の世界で、「当初の問題」を解決したい。
- 「下位の問題」は、「当初の問題」(抽象化)の「具体化」である。
 - 「当初の問題」の中で、特定の場合(「下位の問題」)を解決したい。

2018/10/9 Toyohiko Hirota 9

問題階層の事例

- 上位の問題
 - 「ソフトウェア工学」の単位を取得する。
- 当初の問題
 - 受講学生は「ソフトウェア工学」のレポートを期限通りに提出する。
- 下位の問題
 - 自分自身は「ソフトウェア工学」のレポートを期限通りに提出する

2018/10/9 Toyohiko Hirota 10

演習の手順 (1)

- 本日のファシリテータ(司会・新呼応係)を決めます。
- どんな問題を解くかを確認します。
 - 効用分析の再確認
- その問題の本質はどこにありますか?
 - 問題階層探索

2018/10/9 Toyohiko Hirota 11

演習の手順 (2)

4. ファシリテータがグループを代表して、演習結果を教員に報告します。
 1. 本日作業したA4用紙を提示します。
 2. 終了時間になったら、作業途中でも、そこまでの中間成果を提示します。
 3. ファシリテータには出席カードを渡すので、表の自分の学籍番号と氏名を記載し、裏面にはグループ番号を記載し提出してください。

2018/10/9 Toyohiko Hirota 12

演習レポート (レポート2)

- ファシリテータは次回授業開始時までにはレポートを提出しなければなりません。
- レポートは、教材のWebページから所定のExcelファイルをダウンロードし、演習結果を記入してください。
- ファイルは教員宛てのメールに添付ファイルとして送付してください。
 - 件名：レポートx グループy
 - 本文：提出者（ファシリテータ）の学籍番号と氏名
 - 添付ファイル名：RxGy.xlsx

xはレポート番号、yはグループ番号です

予習課題

- 第5回小テスト「対立解消図」に回答してください。
- 回答期間
 - 10月9日（火）14:30～10月15日（月）13:00
- 次回のスライド、ネット上の資料、他科目の教材などを参照してください。
- 友人と相談してもかまいません。

おわりに

- レポート締切は次回の講義の直前（12:50）とします。
- 次回はTOCの「対立解消図」を取り上げます。
- TRIZで矛盾に焦点を当て、その矛盾を解決するために「発明原理」を活用します。
- 次回は問題を解決する前に、どこに矛盾があるのかを顕在化させます。